

製品名: ヒストン H3 (アセチル Lys9) ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe21186

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	アセチル
修飾	アセチル化
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:1000-1:4000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:15kD;Observed MW:15kD

抗原情報

遺伝子名	HIST1H3A HIST1H3A;H3FA;HIST1H3B;H3FL;HIST1H3C;H3FC;HIST1H3D;H3FB;HIST1H3E;H3FD;HIST1H3F;H3FI;HIST1H3G;H3FH;HIST1H3H;H3FK;HIST1H3I;H3FF;HIST1H3J;H3FJ;Histone H3.1;Histone H3/a;Histone H3/b;Histone H3/c;Histone H3/d;Histone H3
別名	
遺伝子 ID	8350;8351;8352;8353;8354;8355;8356;8357;8358;8968
SwissProt ID	P68431
免疫原	標的タンパク質の残基に対応する合成アセチル化ペプチド

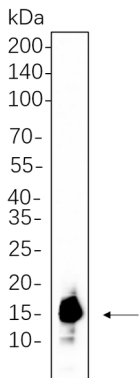
背景

細胞局在: 核。ヒストンは、真核生物の染色体繊維のヌクレオソーム構造を担う基本的な核タンパク質です。この構造は、約 146bp の DNA がヌクレオソームに巻き付いて構成されています。ヌクレオソームは、4つのコアヒストン (H2A、H2B、H3、H4) がそれぞれ対になって構成される八量体です。クロマチン繊維は、リンカーヒストン H1 とヌクレオソーム間の DNA との相互作用によってさらに凝縮され、高次のクロマチン構造を形成します。この遺伝子はイントロンを含まず、ヒストン H3 ファミリーに属する複製依存性ヒストンをコードしています。この遺伝子からの転写産物はポリ A 末端を持たず、代わりに回文終結配列を含みます。この遺伝子は、染色体 6p22-p21.3 の大きなヒストン遺伝子クラスターに存在します。[RefSeq 提供、2015 年 8 月]

研究分野

-

画像データ



HeLa 細胞全細胞ライセートを 10% SDS-PAGE で分離し、メンブレンをヒストン H3 (アセチル Lys9) ウサギモノクローナル抗体 (1:1000) でプロットングした。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG (H + L) 抗体を用いた。